

計画の名称	交野市域の快適な暮らしを実現する下水道整備の推進（その2）（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	交野市												
計画の目標	流域関連公共下水道の渚処理区域の下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,194	A	1,194	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27	中間目標値 H29	最終目標値 H31
1	下水道による下水道処理区域内人口普及率を94.5%(H26末)から95.0%(H31末)に増加させる。 渚処理区域の下水道処理区域内人口普及率 (%) 渚処理区域の下水道処理区域内人口普及率 (%) = (渚処理区域の下水道整備区域内人口 (人)) / (渚処理区域の行政人口 (75,998人)) × 100	95%	95%	95%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標の現況値及び目標値 (H27当初) 94.5% (H29末) 94.7% (H31末) 95.0%												



A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	交野市	直接	交野市	管渠(汚水)	新設	私部神宮寺処理分区 汚水管渠整備	汚水管 φ=200mm L=570m	交野市	■	■	■	■	■	97		—	
	A07-002	下水道	一般	交野市	直接	交野市	管渠(汚水)	新設	郡津倉治処理分区 汚水管渠整備	汚水管 φ=200mm L=320m	交野市	■	■	■			58		—	
	A07-003	下水道	一般	交野市	直接	交野市	管渠(汚水)	新設	茄子作第2処理分区 汚水管渠整備	汚水管 φ=200~400mm L=2620m	交野市		■	■	■	■	910		—	
	A07-004	下水道	一般	交野市	直接	交野市	管渠(汚水)	新設	星田処理分区 汚水管渠整備	汚水管 φ=200mm L=300m	交野市		■				49		—	
	A07-005	下水道	一般	交野市	直接	交野市	管渠(汚水)	新設	茄子作第4処理分区 汚水管渠整備	茄子作第4処理分区 汚水管渠整備	交野市	■	■				30		—	
	A07-006	下水道	一般	交野市	直接	交野市	管渠(汚水)	新設	渚処理区 汚水管渠整備	汚水管 φ=200~400mm L=2205m	交野市	■	■	■	■	■	50		—	
												小計						1,194		





交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	26	38	50	85	170
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	26	38	50	85	170
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	44
支払済額 (e)	26	33	43	40	55
翌年度繰越額 (f)	0	5	7	45	159
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 交野市域の快適な暮らしを実現する下水道整備の推進（その2）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) まちづくりの目標が市総合計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 1) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 1) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○



(参考様式3)

計画の名称	交野市域の快適な暮らしを実現する下水道整備の推進 (その2) (重点計画)	
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象 大阪府 交野市



凡 例	
下水道法による事業計画区域	
基幹事業 污水管渠整備	
効果促進事業 污水管渠整備	

凡 例	
	年度以前施
	計画流域関連
	処理区域
	認可区
	市街化区